

設問 I

問 1 次の文にあてはまる言葉や人物の名前を解答欄に書きなさい。

- (1) 子どもは大人とは異なる存在であると考え「子どもの発見者」として知られる( )は、架空の少年が大人になるまで、自身をなぞらえた家庭教師が成長を見守るフィクション「エミール」を著した。
- (2) イタリアの女性医師( )は、障がい児の治療から教育に関心を持ち、子どもの自己活動を重視し感覚教育を提唱した。円柱さしなどの教具を使用して子どもたちの五感を刺激する彼女の教育方法は、幼児教育に世界的な影響を与えている。
- (3) 学習者が自分の目標を決め、その目標を達成するために計画を立て、実行段階で思考・感情・行為をコントロールし、実行後に自らの学習行動を評価するプロセスを( )という。

問 2 次の文は教育基本法の条文の一部である。(ア)～(オ)にあてはまる語句を語群からそれぞれ1つずつ選び、解答欄に書きなさい。

第二条 教育は、その目的を実現するため、(ア)の自由を尊重しつつ、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。

一 幅広い知識と(イ)を身に付け、(ウ)を求める態度を養い、豊かな情操と(エ)を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

四 生命を尊び、自然を大切にし、(オ)の保全に寄与する態度を養うこと。

【語群】

社会	道徳心	正義	伝統	学問	真理
教養	心身	環境	地域社会	公共	

問3 次の文は日本国憲法の条文の一部である。(カ)～(コ)にあてはまる語句を解答欄に書きなさい。

第十三条 すべて国民は、(カ)として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、(キ)に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第十九条 (ク)及び良心の自由は、これを侵してはならない。

第二十六条 すべて国民は、法律の定めるところにより、その(ケ)に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する。

第二十七条 すべて国民は、(コ)の権利を有し、義務を負う。

## 設問Ⅱ

教育評価におけるポートフォリオ評価とは、どのような評価方法で、どのような目的のために用いられるか、80字以内で説明しなさい。

## 設問Ⅲ

ヴィゴツキーが提唱した、子どもが独力で課題を解決できる現時点の発達水準と、他者からの援助を受けることで解決できる水準の間の領域、「発達の最近接領域」という概念をふまえて、教員として児童生徒の学びを促進するためにどのような工夫ができるか、あなたの考えを400字以内で述べなさい。(自分の主張、主張の理由、主張の根拠となる事実や体験を含むこと)